

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 6年 2月 10日

事業所名： 放課後等デイサービス ふあむ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	8				96%	4%			自分の好きなところでのびのびと過ごせるよう配慮された環境だと思います。	
	2 職員の適切な配置	8				100%				いつも職員さんが多く安心していきます。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	7	1		完全なバリアフリーではないが、個々に応じた安全面の配慮はなされており障がいの特性に応じた環境整備はしている。	88%	4%		8%	玄関は情報伝達等への配慮がなされている。空間の中で活動場所を有効に使って過ごさせています。玄関のロビーが使いづらそうです。	玄関で座って靴の脱ぎ履きができるよう椅子の設置をします。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	8			毎日整理整頓、環境整備を職員全員で実施している。	100%					
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	8			PDCAサイクルの勉強会を実施し、職員全員が意識を高められるようにしている。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			8	現在は第三者評価は行なっていない。今後検討予定。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8			1年間の研修計画を立てて職員全員が受講できるようにしている。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	1	8			個々の強みを生かせるように良いところや伸ばしていきたいところに着眼し、保護者と面談し、具体的に計画に反映させている。	100%				多忙な中、ヒヤリングを丁寧にしていただきありがとうございます。安心してお任せ出来ます。	
	2	8			たくさんの意向の中から半年後小さな一歩(短期目標)として達成可能な目標を話し合い計画書に反映させている。	100%					
	3	8			その日の利用者の特性に合わせてグループ分けをし、必要に応じて個別で関わりその日のプログラムに参加が出来るよう具体的な方法を事前に職員間で話合っている。						
	4	8			成功体験に繋がるように個々がやってみようと思える方法を考え同じ方法でなく個々に合わせた方法でプログラムに取り組んでいる。	100%					
	5	8			2か月前に翌月のプログラム表を保護者にお渡しできるように3か月前に話し合いをし立案・作成をしている。 利用者や保護者に取り入れてほしいことなど聞いて反映させている。						
	6	8			週固定ではなく運動、工作、音楽、調理、外出、お買い物、日常生活動作、言語など様々なプログラムを体験できるよう毎月作成し実施している。	100%				・お休みは日頃から遠方へ行ったりいろいろな体験をさせて頂いています。 ・こどもが興味をひくようなプログラムが毎月あり、マンネリ化を感じない。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	8			平日、休日、長期休暇など保護者のご意向に沿った送迎時間の変更や延長対応など実施している。休日や長期休暇中は平日に体験できない活動を取り入れるようにしている。						
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	8			1週間前までにプログラムの担当者が企画書を提出し、支援内容や職員の役割分担等見直し全員で意見を出し合い決定している。						
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	8			翌日の朝、前日のプログラムの振り返りをし、次回に繋げられるように職員間で話し合いをしている。						
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	8			記録の様式を個別支援計画に反映させやすいように項目分けをし、偏った見方にならないようにしている。支援の検証をし、改善点があればすぐに職員間で話し合いをするようにしている。						
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	8			一覧表を作成し、定期的なモニタリングを実施している。必要に応じて面談等実施し、見直しも行っている。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			工夫した点、改善点	保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	8			児発管が資料を作成し、担当者会に参加し情報共有をしている。 こちらから必要に応じて担当者会の開催を依頼することもある。						
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施										
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	8			連絡会や学校や保育所などの個別懇談に出席させて頂き、情報共有をし、支援に生かせるようにしている。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	8			移行の際には資料を作成し、保護者同意の上移行先に情報提供している。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	8			専門機関での研修に参加させてもらっている。 必要に応じて主治医との連携も図り、困りごとなど相談するようにしている。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	7	5	3		児童館との交流は予定している。 地域住民との交流はしている。 地域の公園等で地域の子どもの交流は図れている。	60%	8%	4%	28%	必要性を感じない。 今後合ったほうが良いのか分からない。 常時利用していないので分かりません。	保護者の意向を確認したり、必要性を説明したりしながら交流を深めたい。
	8	8			近隣住民との交流は図れている。						
保護者への説明責任・連携支援	1	8			契約時に書面をみながら説明し、同意書を頂いている。	100%					
	2	8			作成した計画書を見せて説明を行っている。	100%				日々の連絡ノート、利用者さんに対応しながらありがとうございます。 子どもを丁寧に見て頂き的確な計画、助言をありがとうございます。	
	3	8			個別で必要に応じて実施している。	84%	4%		12%	常時利用していないのでペアトレ研修会の有無が分かりません。	
	4	8				100%				日頃から電話やラインでやりとりしてもらい思いを理解してもらい助かっています。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標			
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
保護者への説明責任・連携支援（続き）	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	8				100%				いつでも相談出来るので助かっています。すぐに対応してもらえて嬉しいです。		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	5	3		保護者参加のイベントを通して保護者同士の交流の機会を設けている。	72%	4%	8%	16%	必要かどうか分からない。体操教室で他の保護者さんと会うことができました。	情報発信をしっかりとしていく。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8			苦情(要望)の対応体制や書類の作成を実施し、迅速に対応できるようにしている。苦情にまでならないようにやりとりをまめにおこなうようにしている。	94%			6%	苦情がないのでわからない。	ご要望があれば出来るだけ早く対応できるように継続します。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8			電話では話しにくいこともラインであれば24時間連絡し合えるので希望に応じてライン交換している。保護者が思いついた時に連絡できるように配慮出来る限り早く返信している。	100%						
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	8			ブログを定期的に公開し、活動の様子をお知らせしている。	96%			4%			
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	8				100%						
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	8			マニュアルを作成し、職員はいつでも閲覧できるようにしています。	84%	8%		8%		周知徹底する。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8			避難場所まで一緒に歩いている。長期休暇中に利用児も一緒に訓練に参加している。	88%	4%		8%		行っているが周知徹底する。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の 確保等の適切な対応	8			研修会に参加するとともに虐待 防止委員会の設置をし適切な対 応が出来るようにしている。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における 組織的な決定と、子どもや保護者に事前 に十分に説明・了解を得た上での児童発 達支援計画又は放課後等デイサービス計 画への記載	8			研修会に参加するとともに虐待 防止委員会の設置をし適切な対 応が出来るようにしている。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医 師の指示書に基づく適切な対応	8									
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内 での共有の徹底	8			その都度報告書を作成し、事故 を未然に防ぐことができるように 対策を考え対応している。 職員全員に回覧している。安全 対策委員会を設置し、定期的 にまとめ事例検討会をしている。						